

議会報告会 報告書

実施日時	平成31年1月31日（木曜日） 19:00～20:30		
会 場	安曇川公民館 視聴覚室	来場者数	6人
役割分担	班長 是永 宙 司会進行 澤本 長俊 報告（総務常任委員会） 今城 克啓 （文教福祉常任委員会） 廣部 真造 （産業建設常任委員会） 大槻 ゆり子 記録 磯部 亜希 受付 森脇 徹 青谷 章 挨拶 廣本 昌久		
<p>【報告に関する質疑応答】</p> <p>（問）掛川市での自主防災会は町内会でされているのか。 （答）基本的に自治会単位でつくられています。</p> <p>（問）家庭の避難計画は個別相談でされているのか。申請するのか。呼びかけなのか。地元との具体的な行動の中で決めて作られているのか （答）地域の避難所、広域避難所と家庭をどう結ぶのか、という内容で、各地域の避難所を生かしたものとなっております。家庭での防災計画として、家族構成など様々なことを書き込み、市に提出するものではなく、控えとして家にもっておくものです。</p> <p>（問）学校運営協議会の委員報酬について詳しく聞きたい。 （答）日額5,500円です。年4回程度。校長、地域の方々に学校運営をしていこうとはじめられました。</p> <p>（問）総務常任委員会での浜松市中山間地域の振興策は、いつから始められたのか。人口推移はどのようになったのか。高齢者の買い物支援等市としてか地域でされているのか。農地の活用面積の内容について高島市で生かせるものは。 （答）平成23年から始められた事業であります。人口については減少傾向にあるようです。事業は、自治会ではなく各NPO法人の得意分野で行われ、市は交付金、補助金を出すという形で関わっておられます。遊休農地の活用につ</p>			

いては、在来品種の開発などもあります。がどれくらい遊休農地が出たか、など詳しいことについては把握できておりません。

(問) いきいき元気館は用途変更されるが、プール、バイオマスは継続して使われるのか。

(答) 児童発達支援センターとなる予定です。プールのあった場所は部屋として使用され、熱供給に関しましては廃止されます。

【意見交換】

(問) 高齢者福祉計画の策定に意見したが、障がい者、要支援以上の方以外の元気なお年寄りの買い物の送迎等の必要性を感じる。別荘地では乗り合いタクシーの乗り場まで遠い所もあり、ドア to ドアを要望しているが叶わない。京丹後市や伊根町に議員に視察に行ってもらいたい。また、このような実情についてどう思われているのか。

(答) 議員一人一人それぞれが思いをもっておりますが、この場ではルールで個人の意見をお答えすることができませんので、ご意見としてお受けいたします。

(意見) 高島では小中一貫教育が行われている。中学校へあがる中1ギャップがないことで子どもが育つのかどうか検証されていない。不登校率が少ないと言われているが、もともと少ない。中学校が小学校に寄せているように思われ、中学生としての成長に不安。また、現場の先生の声はなかなか管理職には届かない。何の目的でされているのか、ただの目玉でされているのか、とってしまう。子どもらが犠牲になっているように思える。

(答) ご意見として承ります。

(問) 災害の際に停電になると自分の地域ではライフラインが停まる。つまり、水も止まる。それぐらい大変だということを市の職員は把握できているのか。雪の際も家から出るのも一苦勞である。住民も市も動かず、全体で大変という意識がない。自治会に入っていないので、市からきた水ももらえない。そういう現実を市は把握した上で防災計画をお願いしたい。

(答) 先ほど報告した掛川市では、各家庭の防災計画、市が働きかけて自主防災会を作り、その自主防災会が各家庭に働きかけていました。高島市も同じように自主防災会で活発にやっている集落もありますし、集落によってかなり差が大きいと認識しています。現状としては地域によって様々で一概にお答えす

ることは難しいです。

(意見) 一般質問での自主防災組織数の答弁で、高島市の自治会数は204とされている。交付金を支払っていないところは自治会数に含まれていないためこの数になっている。自治会として数えられていないと広報も配布されない。防災訓練のことを知ることもできない。自分で数えたら、204をこえる。市民協働課からの数であるが、最近では200をこえる、など書き方を変えている。税金を交付しているところだけが自治会ではない。数として含まれていないことを議員の方にも認識してもらいたい。声を語れない地域があるのだ。

(答) ご意見として承ります。

(問) ふるさと納税の分が保育園の無料化に使われているのか。教職員の働き方改革で部活動の時間が減っている。学校以外の地域でのスポーツ少年団やクラブチームなどに予算をつけるなどしていかないと、縮小ばかりになってしまう。指導者も不足している。体を鍛えることで学力に良い影響を与えることがわかっている。ここに戻って子育てをしてもらうためにも、魅力的にするため、身心ともに育てられ、楽しく子育てできるよう、保育費のみではなく、スポーツを育てるなど、小・中まで予算をつけてもらいたい。

(答) ふるさと納税については、妊婦健康診断の費用を全額助成、第2子以降の保育料を完全無料化、中学生までの入院、通院に係る医療費の無料化、障がいを持つ方などの生活行動範囲の拡大と社会参加の促進、マキノメタセコイア並木など地域環境の保全や景観の維持活動の支援、森林のもつ多面的機能の保護、公共バス路線の維持の一部に使われております。

(問) 合併14年目になるが、8000人弱の人口減少になっている。高島市の一体感に不安なところがある。住民監査請求について昨年何件あってどのような内容なのか。

(答) 住民監査請求については非公開ではなく、情報公開請求されると出せるものではありませんが、この場ではお伝えすることが難しいです。何件か出されることは出されています。HPの中では却下されているものは載せられていません。

(意見) 公共の箱物の整理がなされていっているが、小さな範囲で必要な物は数多く残してもらいたい。子どもの教育の面で居場所づくりを言われているのであれば、図書館も含まれるので残してほしい。農協との連携で高齢者の買い物のスポットになるように、また、NPO法人が活躍できる、動ける形にして

ほしい。図書館に関しては利用者の人数ではなく最後の一人になるまで残してもらいたい。良いことはのびし、子育てされる方が安心してまちの空気づくりをしてほしい。

(意見) 議会報告会の参加者が少ない。開かれた議会を言っておられるがこれでいいのか。説明資料だけでは不十分である。議会だよりを見てくださるだけでなく、必要なものだけでも添付して説明してもらいたい。

(答) 議会基本条例に従い、議会報告会は行わせてもらっております。参考にさせてもらいたいと思います。

(一言) 公共施設の再編に関して、現状でいくと維持費は年間30数億円かかります。どこをどのように再編していくのか、議会として審議にみなさんのご意見を反映させるため、検討の委員会を作りこれから協議していく計画する予定であります。大事なものを残し、何をもっと育てていくべきかを考える必要があるので、またご指導を賜りますようお願いいたします。

高島市議会議長 廣本 昌久 様

平成31年2月4日

高島市議会報告会開催要綱第9条第1項の規定により提出します。

2班 班長 是永 宙